

平間小学校と
平間地域で
ミックスーパー
3R
一括管理プロジェクト

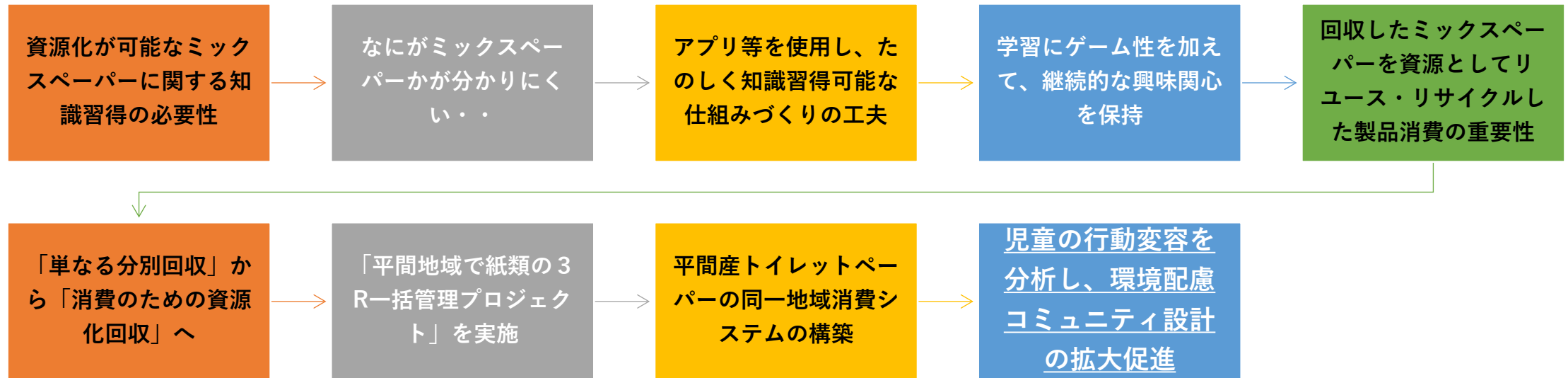
- サークュラー型リサイクルの重要性
 - 同一地域で3R一括管理を実現
- 環境配慮コミュニティ設計の必要性

株式会社 祥朝

川崎市SDGsプラットフォーム分科会

川崎雑紙3R促進研究会 地産地消効果の検証

分別回収から消費のための資源化回収へ 平間小学校でミックスペーパー資源化促進とその消費 の重要性を学習



環境配慮コミュニティ設計の必要性

「石器時代の終焉は、石がなくなったからではない」

ザキ・ヤマニ サウジアラビア元石油相

効率的な資源化回収および当該をリユース・リサイクルした製品の消費というサーキュラーエコノミーを実現させる
コミュニティ設計の重要性



コミュニティが拡大することで「環境配慮コミュニティ設計」という考え方を社会実装させる事が可能



石がなくなってから
では遅い・・・



将来枯渇する資源確保の観点からも、3Rに対する考え方はリニア型（線型）からサーキュラー型（循環型）への転換が必要



ミックスペーパーの環境 配慮コミュニティ設計 「分別回収から消費のた めの資源化回収へ」

ミックスペーパー
分別回収率は何故
向上しないのか？

分別回収率から資
源化回収率へ

自給率の付加（自
給可能率と自給実
現率を区分）

項目	H26 (基準年度)	H30	R1	R2	R3
焼却ごみ中のミックスペーパーの組成率	10.9%	9.9%	10.8%	9.6%	8.6%
焼却ごみ中のミックスペーパーの含有量 (推計)	26,248t	23,667t	25,920t	24,085t	20,720t
ミックスペーパー収 集量	14,063t	11,897t	11,409t	10,356t	9,990t
ミックスペーパー分 別率	34.9%	33.5%	30.6%	30.1%	32.5%
指数	100	95.9	87.6	86.2	93.2

※ 分別率の算定に当たっては、組成調査のばらつきを補正するため、3 か年移動加重平均によるごみ組成率を使用

項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
プラスチック製容器 包装分別率 (%) ※	34.4	36.8	35.6	35.8	35.8	35.8	37.8	40.4
ミックスペーパー分 別率 (%) ※	34.9	35.6	36.4	34.9	33.5	30.6	30.1	32.5
家庭ごみ合計 (t)	351,924	351,294	344,827	342,761	338,437	338,997	354,132	343,687
家庭系資源化量 (t)	102,298	100,021	95,524	93,129	90,142	88,758	91,388	89,627
家庭系資源化率 (%)	29.1	28.5	27.7	27.2	26.6	26.2	25.8	26.1
プラスチック製容器 包装資源化量 (t)	12,395	12,587	12,753	12,686	12,723	13,170	14,288	14,527
ミックスペーパー資 源化量 (t)	14,063	13,618	13,010	12,530	11,897	11,409	10,356	9,990
資源集団回収 (紙) 資源化量 (t)	45,635	43,962	41,705	39,741	37,569	35,699	35,794	34,864
ペットボトル 資源化量 (t)	5,076	5,042	4,991	4,751	4,846	4,842	5,279	5,373

※分別率の算定に当たっては、組成調査のばらつきを補正するため、3 か年移動加重平均によるごみ組成率を使用

分別回収から消費のための資源化回収へ 「川崎市の現状分析と展望」

資源化回収からリサイクルされた
トイレットペーパーの市内消費シ
ステムは実施可能

資源化回収率 = 約 30 %

資源化回収量 = 約 10,000 トン
減少傾向...

市内自給可能率 = 80 %

リニア型 3R=CO₂可視化不可

市内自給実現率 = 3R一括管理シス
テムが必要

サーキュラー型 3R=CO₂可視化実現

